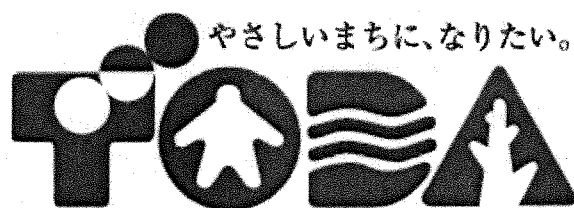


図書館要覧

令和元年度



戸田市立図書館

戸田市民憲章

わたくしたちは、豊かな荒川の流れと、
うるわしい武蔵野の大地をふるさととする戸田市民です。
わたくしたちは、このまちに誇りと責任をもち、
夢と希望のある戸田市をつくるため、この憲章をさだめます。

わたくしたち戸田市民は
心をみがき、体をきたえましょう
明るくうるおいのある家庭をつくりましょう
話し合い、助け合いの輪をひろげましょう
自然をまもり、すみよい環境をつくりましょう
教養と文化をたかめ、みのりを未来にのこしましょう

(昭和 54 年 11 月 3 日制定)

戸田市平和都市宣言

世界の平和は、人類共通の願いであり、
人類生存に不可欠な要件である。
戦後 41 年、私たちは一丸となって平和の確立に向かい
努力を続け、今日の平和と繁栄を築いてきた。
しかし、世界各地では今なお武力紛争が絶えず、
核戦争の起きる危険性が高まり、
人類の平和と生存に深刻な脅威をもたらしている。
わが国は世界唯一の核被爆国として、
核兵器の恐ろしさと被爆の苦しみを深くかみしめ、
全世界の人々にその廃絶を訴え続けていかなければならない。
ここに戸田市は、平和な未来を築き、次の世代に引き継ぐため、
市制施行 20 周年を期して平和都市宣言をする。

(昭和 61 年 6 月 16 日制定)

目 次

1	令和元年度戸田市立図書館の運営方針	1
2	沿革	2
3	図書館施設と配置図	6
4	組織図	7
5	図書館・郷土博物館協議会	7
6	予算・決算	8
7	運営の概要	9
	(1) 図書館本館の施設設備改修工事	10
	(2) 本館	10
	(3) 図書館本館の休館に伴う臨時自習室の開設	12
	(4) 分館	12
	(5) 分室	13
	(6) 配本所	14
	①戸田公園駅前配本所	14
	②新曽配本所	14
	(7) コンピュータシステム	14
8	業務の概要と平成30年度の実績	15
	(1) 資料の収集	15
	(2) 登録	16
	(3) 貸出業務	16
	①貸出し	16
	②リクエスト	17
	③相互貸借	18
	④広域利用	18
	(4) 児童奉仕	19
	(5) レファレンスサービス、複写サービス業務	20
	(6) 障害者奉仕	21
	(7) 集会行事	22
	(8) 視聴覚活動	22
	(9) 広報活動	23
	(10) 視聴覚ライブラリー	23
	(11) ブックスタート	24
	(12) 学校との連携（団体貸出し）	25
	参考資料（関連グラフ・表、関係条例、規則、要綱等）	27

1 令和元年度戸田市立図書館の運営方針

市民の皆様に喜んでもらえる図書館を目指し、笑顔で迎え、迅速かつ丁寧な対応でサービスを提供するよう努めます。

図書館の取組として、図書資料・視聴覚資料の貸出しだけでなく、市民を対象とした名作映画鑑賞会や古典講座、文学講座等を開催し、知性と教養を高めたいと考えている市民の要望に応え、知と文化の拠点施設としての充実を図ります。さらに、子育て中の親と子を対象にしたブックスタート事業、視覚障害者を対象にした点字資料(図書・雑誌)、録音資料(デイジー・カセットテープ)の提供等の事業を積極的に行っていきます。

図書館本館については、市民が安心して快適に利用できるよう、施設の長寿命化のため、大規模な設備改修工事を進めます。また、本館休館にともない、平成30年度に本館の所蔵資料から基本図書、貸出利用が多い資料を上戸田分館書庫に移管しており、随時本館新規購入資料も上戸田分館に移管し、閲覧・貸出に供します。

本館休館中、分館、分室、配本所でのサービス向上と戸田市立図書館全体のサービスの質を保つよう努めます。

戸田市立図書館長

2 沿革

昭和44年	3月	福祉センター内に図書室開室
昭和47年	3月	福祉センター図書室を上戸田福祉センター図書室に改称
昭和47年	6月	西部福祉センター内に図書室開室
昭和49年	5月	東部福祉センター内に児童図書室開室
昭和51年	11月	市内の福祉センターに公民館を複合施設として設置（上戸田・西部・東部の各福祉センター図書室は、中央公民館・西部分館・東部分館図書室となる。）
昭和52年	5月	中央公民館新曽分館内に新曽分館図書室開室
昭和56年	3月	戸田市立図書館建設基金条例公布
昭和56年	6月	中央公民館に視聴覚ライブラリー設置
昭和56年	6月	市議会で図書館建設の地質調査、設計委託料、用地購入費を可決
昭和56年	12月	中央公民館に図書館設立準備室設置
昭和57年	1月	図書館・郷土博物館の建物建築確認（1月29日・第2381号）
昭和57年	2月	図書館・郷土博物館の建設工事着工
昭和58年	4月	戸田市立図書館設置及び管理条例施行各公民館図書室が図書館分室に移行、運営
昭和58年	7月	図書館・郷土博物館の建設工事完了
昭和58年	8月	視聴覚ライブラリーが図書館に移管
昭和58年	9月	戸田市立図書館協議会発足
昭和58年	10月	郵政省から盲人用録音物発受施設の許可を取る。
昭和58年	11月	図書館（本館）開館。コンピュータシステム稼働（第1期）。古典講座開始
昭和59年	1月	映画会（1月）、ストーリーテリング講座、歴史講座（2月）、視聴覚機器技術講習会（3月）、おはなし玉手箱（お話会、4月）など定例行事開始
昭和59年	9月	図書館報『みみずくだより』創刊
昭和59年	11月	戸田市立郷土博物館開館
昭和59年	12月	子ども向け図書館報『わいわいだより』創刊
昭和60年	3月	朗読者養成講座（現在の音訳者養成講座）開始
昭和60年	12月	児童用の図書案内『ブックりばこ』創刊
昭和61年	8月	福祉青少年会館内に下戸田南分室開室（8月10日）
昭和62年	1月	戸田公園駅に返却ポストを設置
昭和62年	4月	県南3市（川口、蕨、戸田）の広域利用の試行開始
昭和62年	6月	CDの貸出開始
昭和62年	7月	本館、分室間のコンピュータオンライン化
昭和63年	4月	県南5市（川口、草加、蕨、戸田、鳩ヶ谷）の広域利用の試行開始
昭和63年	7月	コンピュータシステム更新（第2期）
昭和63年	8月	開館5周年記念行事「子どもの1日図書館員」開催
昭和63年	10月	中地下スチール製積層書架納入
平成元年	1月	絵本カルタ大会開始
平成元年	7月	文学講座開始
平成3年	8月	利用者用端末機導入
平成4年	11月	折り紙講座開始
平成5年	4月	県南5市広域利用を試行から本実施へ
平成5年	7月	コンピュータシステム更新（第3期）
平成5年	8月	ビデオテープの貸出開始。在勤・在学者への視聴覚資料の貸出開始。
平成5年	8月	貸出冊数・期間の改定（図書・雑誌5冊→6冊、視聴覚資料15日→8日）。
平成6年	2月	開館10周年記念として『戸田市立小・中学校児童生徒読書感想文集』刊行
平成6年	4月	複写サービス取扱要項制定

平成 6 年 1 2 月	リサイクル図書コーナー設置
平成 7 年 1 月	旧浦和市との広域利用開始。広域利用者への視聴覚資料の貸出開始
平成 7 年 4 月	資料収集方針、資料除籍基準制定
平成 7 年 8 月	平和図書コーナー設置。除籍雑誌のリサイクルフェア実施
平成 7 年 9 月	子どもの本の講座開始
平成 8 年 4 月	連絡配本車（巡回車）の運行を委託化
平成 8 年 5 月	戸田駅、北戸田駅に返却ポストを設置
平成 8 年 9 月	利用者用端末機増設
平成 8 年 1 0 月	貸出方法の見直しについてのアンケート実施
平成 8 年 1 1 月	ととけっこの部屋開始
平成 9 年 4 月	雑誌最新号の一夜貸しを中止
平成 1 0 年 4 月	図書館資料の複写手数料の改定（図書資料 3 0 円・マイクロフィルム資料 5 0 円→全て 2 0 円）
平成 1 0 年 4 月	新曽分室の廃止
平成 1 0 年 5 月	まちづくり出前講座登録
平成 1 0 年 1 0 月	本館の開館時間の延長（火曜日と木曜日、午後 7 時まで）の試行開始
平成 1 1 年 4 月	『おめでとう！いちねんせい 本はみんなのともだち』創刊
平成 1 1 年 1 2 月	コンピュータシステム更新（第 4 期）
平成 1 2 年 9 月	ホームページ開設。利用者用端末及びインターネットからの予約システム開始
平成 1 2 年 1 0 月	祝日開館（本館）の試行開始
平成 1 3 年 4 月	本館の祝日開館、開館時間の延長（火曜日と木曜日、午後 7 時まで）を本格実施
平成 1 3 年 5 月	さいたま市（浦和・与野・大宮市の合併による新市）との広域利用開始
平成 1 4 年 2 月	さいたま市との広域利用の協定書調印、本館所蔵視聴覚資料の分室での貸出返却開始
平成 1 4 年 4 月	コイン式複写機の導入と複写料金の改訂（2 0 円→1 0 円）
平成 1 4 年 4 月	ブックスタート開始
平成 1 4 年 4 月	おはなしの部屋開始
平成 1 4 年 1 1 月	本館調査研究室にパソコン専用席（1 4 席）を設置
平成 1 5 年 2 月	図書館前庭地下調整池築造工事始まる
平成 1 5 年 8 月	郷土博物館との共催でコールデコット賞受賞絵本の展示会開催
平成 1 6 年 2 月	IT 推進室による市民用インターネット端末を本館調査研究室に設置。同時に無線 LAN インターネットサービスの運用開始
平成 1 7 年 3 月	図書館前庭地下調整池築造工事完了
平成 1 7 年 6 月	本館調査研究室のレイアウト変更、オーディオコーナー廃止、DVD 貸出開始
平成 1 7 年 1 0 月	条例改正により本館・分室ともに開館日を増やす（休館日第 2・4・5 月曜、月末等）
平成 1 7 年 1 1 月	図書館駐車場・駐輪場等整備工事着工
平成 1 8 年 1 月	本館 1 階開架図書資料への IC タグ貼付開始（5 3, 0 0 0 冊）
平成 1 8 年 3 月	図書館駐車場・駐輪場等整備工事完了
平成 1 8 年 4 月	『レファレンスだより』創刊
平成 1 8 年 4 月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰受賞
平成 1 8 年 5 月	本館 1 階及び 2 階の図書資料への IC タグ貼付（1 1 0, 0 0 0 冊）
平成 1 8 年 6 月	本館に授乳室設置
平成 1 8 年 7 月	「図書館市民講座」「レファレンス講座」開始
平成 1 8 年 8 月	本館視聴覚資料（CD、DVD、ビデオテープ）に IC タグ貼付

平成18年10月	新電算システムの導入（第5期）及び本館にICタグ対応自動貸出機、チェックゲートを設置
平成19年 3月	蔵書検索携帯電話用サイト開設、予約資料のメール連絡開始
平成19年 5月	本館地階の図書資料にICタグ貼付（110,000冊）
平成19年 6月	本館2階カラーコピー機導入及び複写サービス取扱要項の改正（カラーコピー50円）
平成19年 6月	本館1階に図書資料用除菌ボックス設置
平成19年 7月	本館1階カウンター改修、登録・相談カウンターを設置、カウンター内に保管していたCDを開架スペースの専用棚に移し、自動貸出機による貸出も開始
平成19年 7月	視聴覚ライブラリーでのDVD映写機及びDVDソフトの貸出開始
平成19年 8月	本館1階螺旋階段下に扇形書架を設置
平成19年11月	本館所蔵の雑誌にICタグ貼付し、自動貸出機による貸出を開始
平成20年 4月	契約データベース導入
平成20年 5月	本館に自動貸出機2台増設
平成20年 7月	分室の図書資料にICタグを貼付したことにより、図書館全資料にICタグの貼付完了
平成21年 3月	雑誌リサイクルフェア開催（3月・4月計2回）
平成21年 3月	戸田市子どもの読書活動推進計画策定
平成21年 4月	4分室の業務委託化（昼休み開室を開始）
平成21年 8月	図書館たんけんツアー開始
平成21年 9月	図書館・郷土博物館協議会発足
平成21年 9月	貸出冊数を変更（図書資料・視聴覚資料合わせて1人10点まで、15日間の貸出）
平成21年11月	団体への大型絵本の貸出開始
平成22年 6月	戸田公園駅前行政センター内に戸田公園駅前配本所開所（6月30日）
平成22年11月	音訳者養成講座開始
平成23年 3月	マイクロフィルムの廃止
平成23年 4月	マタニティ向けブックスタート冊子『マタニティママと赤ちゃんの小箱』の母子手帳発行時配布を開始
平成23年 6月	本館の土曜日・日曜日・祝日の午前9時開館試行開始
平成23年 6月	『新しい絵本のリスト』を発行し、配本所内に設置
平成23年10月	川口市・鳩ヶ谷市合併により県南四市広域利用へ変更
平成24年 4月	本館の土曜日・日曜日・祝日の午前9時開館本格実施
平成24年10月	図書館システム更新（第6期）
平成24年11月	本館カウンター業務委託開始
平成24年11月	本館の平日午前9時開館試行
平成24年12月	本館1階開架スペースに「小さな便利スポット」を設置（小さい机）
平成25年 7月	開館時間変更（本館平日午前9時～午後8時・分室午前9時～午後6時）
平成25年 7月	戸田市立図書館の貸出利用登録対象者を隣接市区在住者に拡大（板橋区・北区・朝霞市・和光市）
平成25年10月	本館に防犯カメラ設置
平成25年11月	図書館開館30周年記念行事「みみずくとしょかんうーく」開催
平成25年12月	文教建設常任委員会クリスマスイベント開催
平成26年 3月	第2次戸田市子どもの読書活動推進計画策定 戸田市電子図書館推進研究会設置
平成26年 4月	「館長への手紙」実施
平成26年 5月	開館30周年記念「作文・絵画コンクール」表彰式実施・記念誌発行
平成26年 8月	「理想の図書館」アンケート実施

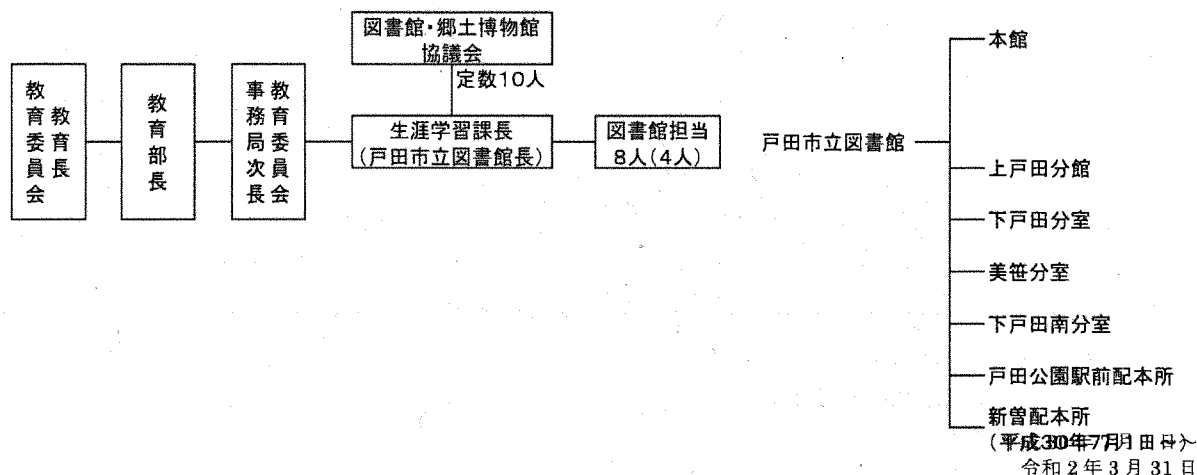
- 平成26年10月 読書案内コーナー設置
- 平成26年12月 図書館クリスマス開催（ビブリオバトル等を文教建設常任委員会と共催で実施）
- 平成27年 2月 貸出券更新制度開始
- 平成27年 4月 館内BGM放送開始
- 平成27年 5月 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
- 平成27年 5月 生涯学習総合情報コーナー設置
- 平成27年 8月 上戸田分室閉室
- 平成27年 9月 上戸田分館開館（9月1日指定管理による運営・4年7箇月）、ICタグ対応自動貸出機、チェックゲートを設置
- 平成27年11月 名作映画鑑賞会開催
- 平成27年12月 図書館クリスマス開催（ビブリオバトル等を文教建設常任委員会と共催で実施）
- 平成28年 3月 図書館ビジョン策定
戸田市電子図書館推進研究会活動終了
- 平成28年 4月 戸田市子供読書手帳配布開始
- 平成28年12月 図書館ホームページにログイン保持機能を導入
- 12月 図書館クリスマス開催（ビブリオバトル等を図書館主催で実施）
- 平成29年 4月 新小学1年生全児童への『戸田市子供読書手帳』配布を開始
「戸田市立図書館に関する利用者アンケート調査」実施（4月25日～5月15日）
- 8月 電気設備故障のため、図書館本館臨時休館（8月16日～31日）
- 10月 本館大会議室での臨時自習席の開設を開始（平成29年度は整列入館実施日かつ当日の大会議室の利用予定がない日に全7回実施した。）
- 12月 図書館クリスマス開催（ビブリオバトル等を図書館主催で実施）
- 平成30年 7月 図書館本館及び郷土博物館の設備改修工事に伴う休館（令和2年3月まで）
図書館本館代替措置として新曽配本所開設（令和2年3月まで）
- 10月 設備改修工事開始（令和2年1月まで）

3 図書館施設と配置図

館 名	所 在 地	休 館 日	開館時間	開設年月日	延面積
戸田市立図書館 (本館)	戸田市大字新曽 1707 番地 (TEL) 048-442-2802 (FAX) 048-442-8988	第 2、4、5 月曜日 及び月末日 (祝日 の場合や月末日が 土日祝の場合は開 館)、年末年始 (12/29~1/4)、特 別整理期間	月~金曜日 午前 9 時~午後 8 時 土・日曜日、祝日 午前 9 時~午後 6 時	昭和 58 年 11 月 1 日	3,610.9 m ²
上戸田分館	戸田市上戸田 2-21-1 上戸田地域交流センター 2 階 (TEL) 048-442-1211	毎月第 3 月曜日及 び月末日 (祝日 の場合や月末日が 土日祝の場合は開 館)、年末年始 (12/29~1/3)、特 別整理期間	午前 9 時 ~午後 9 時 30 分	平成 27 年 9 月 1 日	542.58 m ²
下戸田分室	戸田市下前 1-2-20 東部福祉センター 1 階 (TEL) 048-442-1228	第 2、4、5 月曜日 及び月末日 (祝日 の場合や月末日が 土日祝の場合は開 館)、年末年始 (12/29~1/4)、特 別整理期間	午前 9 時~午後 6 時	昭和 58 年 4 月 1 日	42.2 m ²
美笹分室	戸田市美女木 5-2-16 西部福祉センター 2 階 (TEL) 048-421-6737				99.0 m ²
下戸田南分室	戸田市川岸 2-4-8 障害者福祉会館 3 階 (TEL) 048-443-1500	第 1、3、5 火曜日 及び月末日 (祝日 の場合や月末日が 土日祝の場合は開 館)、年末年始 (12/29~1/4)、特 別整理期間	午前 9 時~午後 6 時	昭和 61 年 8 月 10 日	98.85 m ²
戸田公園駅前 配本所	戸田市本町 4-15-11 戸田公園駅前行政センター 2 階 (TEL) 048-420-9746	年末年始 (12/29~ 1/3) 特別整理期間		平成 22 年 6 月 30 日	21.53 m ²
新曽配本所 ※令和 2 年 3 月 31 日まで 開設	戸田市新曽 1395 番地 新曽福祉センター 1 階 (TEL) 048-442-2800	第 2、4、5 月曜日 及び月末日 (祝日 の場合や月末日が 土日祝の場合は開 館)、年末年始 (12/29~1/4)、特 別整理期間	月~金曜日 午前 9 時~午後 8 時 土・日曜日、祝日 午前 9 時~午後 6 時	平成 30 年 7 月 1 日	5.7 m ²

4 組織図 (平成31年4月1日現在) ※ () 内は、非常勤嘱託員

平成29年度までは、「図書館・郷土博物館」(課名)に図書館担当、郷土博物館担当があり、所属長である「図書館・郷土博物館長」のもと図書館担当職員19名で図書館を運営していました。組織改正により平成30年度から両担当が生涯学習課に統合され、生涯学習課長のもと8名の担当職員で運営しています。



5 図書館・郷土博物館協議会

図書館・郷土博物館協議会は、図書館法第14条及び博物館法第20条に基づく諮問機関であり、図書館・郷土博物館協議会の委員は、図書館・郷土博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し図書館・郷土博物館の業務や利用者サービスへの提言や意見を述べるすることができます。任期は2年です。

(1) 戸田市立図書館・郷土博物館協議会委員

(任期 平成29年9月1日～令和元年8月31日)

NO	氏 名	選 出 区 分
1	林 公 子	社会教育関係者
2	青 塚 和 子	家庭教育向上に資する活動を行う者
3	川 端 富士夫	社会教育関係者
4	小 林 真喜子	家庭教育向上に資する活動を行う者
5	佐 藤 勝 巳	社会教育関係者
6	田 村 均	社会教育関係者
7	山 根 淳 一	学校教育関係者
8	秋 山 廣 紹	学校教育関係者
9	遠 藤 秀 紀	学識経験者
10	高 橋 美保子	学識経験者

(2) 平成30年度開催状況

平成30年11月20日(火)

- 平成29年度事業報告について
- 平成30年度事業計画について
- 図書館・郷土博物館設備改修工事の進捗について
- 図書館指定管理者公募の状況について
- 郷土博物館常設展示室改修について

6 予算・決算

図書館費歳出額

(単位:千円)

予算科目	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度		
			当初予算	前年度 予算比	構成比
総額	351,711	325,186	905,971	234.5	100.0
1 報酬	113	68	179	100.0	0.2
2 給料	31,541	15,338	17,512	78.7	5.8
3 職員手当等	21,807	10,837	17,624	100.2	4.6
4 共済費	15,863	7,407	7,943	71.3	2.9
7 賃金	29,459	10,308	11,272	107.1	2.7
8 報償費	1,866	1,161	1,096	86.9	0.4
9 旅費	109	30	125	100.0	0.1
11 需用費	30,357	12,964	18,841	80.9	6.0
12 役務費	876	851	1,134	95.8	0.3
13 委託料	180,569	142,330	150,039	101.2	38.1
14 使用料及び賃借料	17,923	14,710	18,498	116.2	4.1
15 工事請負費		91,890	637,402	543.6	30.4
18 備品購入費	21,155	14,883	23,895	160.2	3.9
19 負担金、補助 及び交付金	73	2,409	411	16.4	0.7

資料購入費内訳

(単位:千円)

資料種別	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度		
			当初予算	前年度 予算比	構成比
総額	26,011	19,454	26,089	134.1	100.0
図書	19,930	14,642	20,561	146.7	75.4
点字図書	58	52	52	99.7	0.4
雑誌	3,362	2,948	3,656	101.0	13.8
新聞	1,244	817	773	113.7	4.7
紙芝居	66	77	0	0.0	0.3
加除追録	415	455	525	106.1	1.7
CD	154	67	83	102.5	0.6
DVD	782	396	439	101.6	3.1

7 運営の概要

幼児から高齢者まで幅広い利用者層をもつ図書館は、それらの人々が図書や雑誌を求め、あるいは、調べ物をするために、日常的に気軽に立ち寄れる所に配置されることが望ましいとされています。市立図書館は、本館、上戸田分館、下戸田・美笹・下戸田南の3分室及び戸田公園駅前配本所からなり、市内に分散した形で、それぞれが各地域に密着した身近な図書館として業務を行っています。市立図書館の核となる本館は、市域のほぼ中央部にあり、貸出し、閲覧、レファレンスサービス、集会行事等で多くの人が利用しています。また、1分館、3分室及び配本所は、地域交流センター、福祉センター等の公共施設内に設けられています。それぞれ面積や蔵書収容能力の違いはありますが、蔵書構成については館、室ごとの特色を出しています。市内を巡回するコミュニティバス路線の整備等もされ、多くの市民が日常生活圏内で図書館を利用できる状況になっています。

また、図書館利用者に対し、本館、分館、分室、配本所とも共通のサービスを提供できるよう統一的な運営を行っています。図書館利用者と図書館資料の情報管理はコンピュータシステムで行っています。本市では全館共通の貸出券を発行しており、これを提示すれば本館、分館、分室、配本所のいずれでも図書館資料の貸出しを受けられます。借りた資料の返却はいずれの場所でもでき、市内3駅に設置してある返却ポストを利用することもできます。利用者は、インターネットの図書館ホームページ又は本館、分館、分室、配本所の利用者用蔵書検索機（OPAC）から資料の検索・予約や利用者自身の貸出状況・予約状況の確認ができます。

本館、分館、分室、配本所間の図書館資料の配送や返却ポストの返却本の回収は、巡回業務車が行っており、資料の流れを支えている点で図書館運営の上で重要な働きをしています。予約が入っている図書館資料が返却された場合、翌日又は翌々日には、受取希望館（室・所）で、貸出可能となるネットワークを構築しています。

また、図書館資料の貸出し、閲覧、レファレンスサービスといった図書館の基本サービス以外にもブックスタート事業、子供や親子を対象にしたレファレンス講座、おはなし会、子供映画会等の開催、視覚障害者を対象とした録音資料の収集・作成、点字図書の貸出し、教養の向上を図る古典講座、文学講座等を実施しており、多くの人が様々な形で図書館を利用できるよう運営を行っています。

平成17年度から本館2階に「ビジネス書コーナー」を設置し、ビジネスに関する資料を集め、レファレンスサービスの利用も含め、ビジネス情報の提供に力を入れています。

平成19年度には、本館2階に「ボート関連図書コーナー」を新設し“ボートのまち戸田”のアピールを行っています。

平成20年7月には、全図書館資料にICタグの貼付を終了しました。平成21年4月には、上戸田分室（当時）、下戸田分室、美笹分室、下戸田南分室の業務を委託化することにより、業務の効率化と昼休みを開室するなどのサービスの向上を実現することができました。

平成22年6月には、戸田公園駅前行政センター内に配本所を開設し、予約した図書館資料の受渡しを行い、通勤・通学者により利用しやすい環境を整えました。

また、平成23年6月から試行していた土曜日、日曜日及び祝日の本館の午前9時開館を、平成24年4月から本格実施しました。さらに、平成24年11月からの本館カウンター業務の委託化に伴い試行していた平日の午前9時開館を、平成25年7月から本格実施するとともに、本館の平日開館時間を午後8時までに、分室の開館時間を毎日午前9時から午後6時までに延長しました。

平成27年9月1日に指定管理者の運営による上戸田分館（上戸田地域交流センター2階）を開設しました。

(1) 図書館本館の施設設備改修工事

工事期間：平成30年10月～令和2年1月

休館期間：平成30年7月～令和2年3月

① 施設設備改修工事について

施設の長寿命化のため、大規模な施設設備改修工事を行っていました。部分的な居室等の改修ではなく、各種電気設備、空調設備の改修や各階の天井裏や壁内側の各種配管の交換などを行い、工事期間中は全館立入禁止となっています。

② 施設設備改修工事に伴う図書館本館の休館について

休館に伴い、7月1日より本館の代替窓口として新曽配本所を新曽福祉センター1階に開設しました。

(令和2年3月下旬まで開設)

9月下旬に本館事務室を障害者福祉会館3階に移転し、事務を行っています。工事終了後、令和2年2月に事務室を本館に戻し、令和2年4月より図書館本館の運営を再開するための準備を行います。

(2) 本館

図書館本館は、昭和58年11月に開館し、翌59年11月には3階に併設の郷土博物館が開館、現在に至っています。地上3階地下1階の建物のうち図書館部分は、1・2階と地階です。

1階の開架閲覧室(面積 868.5㎡)は、一般書と児童書の書架スペース(約12万冊収容)がほとんどを占めており、ほかにビデオテープ・カセットテープ・CD架、よみきかせコーナー、雑誌コーナー、利用者用端末機があります。また、ICタグ対応の自動貸出機と盗難防止のためのチェックゲートが設置してあります。カウンターでは、利用登録受付、利用案内、貸出し、返却、リクエスト受付、資料案内など開架閲覧室全般の業務を行っています。

2階の参考調査室(面積 875.9㎡)には、参考図書、郷土行政資料、ビジネス書、美術書等の書架スペース(約2万1千冊収容)のほかに、ビジネス誌、専門誌などの雑誌コーナー、新聞コーナー、全国の電話帳、加除式図書などの書架を配置してあります。室内には、それら資料を使って調べものをするための専用席や読書・学習用の個人席(約100席)のほか、利用者が持参したパソコンを使用できる専用席が21席あります。また、電卓が利用できる席もあります。利用者が使用できる機器類として、利用者用端末、契約データベース端末、市民用インターネット端末機、拡大読書機などが配置されています。2階カウンターでは、様々な調べもののお手伝いをするレファレンス(参考調査)業務を行っており、レファレンス内容によっては、市が契約しているデータベースも利用できます。また、その他図書館資料のコピーサービス(有料)の受付も行っています。

地階の開架書庫(面積 332.1㎡)は2層構造で、本館、分室の開架書架から除かれた図書約18万冊が収容されており、新聞・雑誌のバックナンバーなども保存し、貸出し、閲覧に供しています。

その他としては、対面朗読室、会議室、視聴覚室等があり、図書館の講座や行事を行う際に使用しています。これらの部屋は、戸田市内の社会教育団体のみ貸出しが可能となっており、個人への貸出しは行っていない。

設備改修工事に伴い、平成30年7月より休館となり、サービス・資料受入等について、次のように実施しました。なお、本館に残した資料は、平成30年10月から検索対象外としました。

■サービス■

《個人貸出・返却・予約》

平成30年6月までは通常通り実施し、休館となった7月1日より、本館代替窓口として、新曽配本所を開設しました。

《団体貸出》

平成30年6月までは通常通り実施し、7月以降は新曽配本所で、新規利用登録・更新の受付、予約資料の貸出・返却のみ実施しています。蔵書は無いので、選んで借りることはできません。

《大型絵本の団体貸出》

平成30年6月までは通常通り実施し、7月以降は新曽配本所で貸出・返却を行っています。

《レファレンスサービス》

平成30年6月までは随時受付しましたが、7月以降は、電話、メールも含め受付していません。

■資料受入と配置（保管）■

《図書》

本館蔵書30万冊のうちから1万冊程度を上戸田分館書庫に移管し、閲覧・貸出に供しています。7～9月に、基本図書、貸出利用が多い資料、参考図書・郷土資料の禁帯資料の一部に移管しました。新規購入資料も随時移管しています。

《雑誌》

平成30年7月発売分から貸出利用の多いタイトルの一部は、分館、分室の雑誌コーナーに配置しました。他のタイトルは、上戸田分館書庫に移管し、閲覧・貸出に供しています。平成30年1月～6月までの発売分(バックナンバー)も分館及び分室に移管しました。

《新聞》

平成30年7月発売分から各紙の縮刷版と「点字毎日」以外は購入休止しています。縮刷版は受入後、「点字毎日」は視覚障害者への貸出終了後、上戸田分館書庫で保管し、閲覧に供しています。

平成30年度（4～6月）の個人貸出利用者総数は24,037人、貸出点数は90,656点です。

○本館施設の概要

- ・名 称 戸田市立図書館・戸田市立郷土博物館
- ・所 在 地 埼玉県戸田市大字新曽1707番地
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階（一部4階）地下1階
- ・敷地面積 12,553.01㎡・建築面積 2,152.14㎡ 高さ 地上約17.2m
- ・延床面積 6,699.15㎡（うち、図書館部分は3,610.9㎡）
- ・工 期 着工 昭和57年2月27日
竣工 昭和58年7月15日
建築確認日 昭和57年1月29日
- ・工費(契約額) 1,908,101千円
- ・開 館 昭和58年11月1日
- ・収容能力 約30万冊 収容人員352人 駐車場台数99台 駐輪場台数102台 自動二輪7台

・主要室面積

1階 開架閲覧室(868.5㎡) 対面朗読室(20.8㎡) 作業室(62.1㎡) 事務室(105.4㎡)

2階 参考資料室・調査研究室(875.9㎡) 会議室(98.9㎡) 視聴覚室(137.6㎡) 録音室(12.6㎡)

地階 閉架書庫(332.1㎡)

(3) 図書館本館の休館に伴う臨時自習室の開設

本館の自習席については、市内中学校の試験日直前の土曜日・日曜日・祝日、またそれ以外でも日曜日・祝日を中心に利用者が多い状況であることなどを勘案し、休館期間中、自習席の代替措置として7月より市内公共施設に臨時自習室を開設しました。

① 新曽福祉センター(新曽公民館)

・場 所：2階 第1会議室(定員16名)、第2会議室(定員8名)

・開 設 日：日曜日・祝日

・開設時間：午前9時～午後6時

・休 室 日：年末年始(12/29～1/3)・図書館新曽配本所の特別整理期間・公民館まつり前日及び開催日ほか

・管 理：図書館新曽配本所の窓口等業務委託の受託職員

② 西部福祉センター(美笹公民館)

・場 所：2階 準備室(定員16名)

・開 設 日：毎日(休室日を除く)

・開設時間：午前9時～午後6時

・休 室 日：第2, 4, 5月曜日(祝日は開室)・年末年始(12/29～1/3)・図書館美笹分室の特別整理期間・公民館まつり前日及び開催日ほか

・管 理：図書館美笹分室の窓口等業務委託の受託職員

③ 芦原小学校 生涯学習施設

・場 所：1階 集会室(定員30名)

・開 設 日：10/13(土)、10/14(日)、11/23(金祝)、11/24(土)、11/25(日)、2/23(土)、2/24(日)

・開設時間：午前9時～午後6時

・対 象：市内在住又は在学の中学生

・利用方法：生涯学習施設入口(校庭側)で生徒手帳を提示

・管 理：生涯学習施設業務委託の受託職員及び図書館担当職員

(4) 分 館

上戸田分館の前身は、平成27年7月末日で休室となった上戸田分室(上戸田福祉センター2階)です。上戸田分室は、昭和44年3月に福祉センター図書室として開室し、その後、福祉センターに公民館が併設されたことにより、公民館図書室となり、同58年4月から図書館分室となりました。歴史的にも古く、分室の中では、面積、蔵書冊数共に一番の規模でした。

上戸田分館は、上戸田分室の蔵書を引き継ぎ、上戸田地域交流センター（愛称：あいパル）2階に、規模を拡大し（面積542.58㎡）、サービスを拡充した「分館」として平成27年9月1日に開館しました。書架の高さを135～155cmと低めにし、見通しのよいゆったりした空間となっています。収容能力は書庫も含め約7万6千冊です。閲覧席は14席あり、1席ごとにLED照明とノートパソコンを利用するためのコンセントが設置されています。持ち込み資料のみで自習する場合は、上戸田地域交流センター3階の個人学習室の利用となります。

また、ICチェックゲート導入に合わせ、自動貸出機を2台設置しました。全資料にICタグを貼付しているので、図書館本館と同様に利用者自身で貸出手続ができます。

平成30年度の貸出利用者総数は64,175人、貸出点数は242,956点です。

（５） 分 室

小規模ながらも地域の市民に密着する「身近な図書館」として親しまれているのが分室です。各分室には蔵書検索用の利用者用端末（OPAC）が設置され、利用可能となっています。

また、平成21年4月から全分室で昼休み時間帯を開室するとともに、平成25年7月からは開室時間を前後1時間延長して午前9時から午後6時までとしました。

① 下戸田分室

下戸田分室（面積42.2㎡）は、昭和49年5月に東部福祉センターの児童図書室として開室し、その後、公民館図書室を経て、昭和58年4月1日から図書館分室となり現在に至っています。蔵書は約9千冊で、その8割強近くが児童書となっており、他には子供と共に来室する母親向けに育児や家事関係の一般書と雑誌を配置しています。

3分室の中で1階にあるのは当分室だけで、外からガラス窓を通して室内の様子がうかがえる、明るく小さな図書室です。平成30年度の貸出利用者総数は11,712人、貸出点数は48,272点です。

② 美笹分室

美笹分室（面積99.0㎡）は、昭和47年6月に西部福祉センター図書室として開室し、下戸田分室と同様の経緯をたどり現在に至っています。立地環境が国道17号新大宮バイパス・首都高速道路と東京外郭環状道路が交差し、周辺地域を分断していることから気軽に立ち寄れるという条件に欠けているため、3分室中最も利用が少なくなっていますが、引き続き利用の拡大に努めていきます。

蔵書は約1万6千冊で一般書が5割強を占めています。平成30年度の貸出利用者総数は8,338人、貸出点数は35,977点です。

③ 下戸田南分室

下戸田南分室（面積98.85㎡）は、市立図書館（本館）設立後の昭和61年8月にできた分室で、障害者福祉会館の3階にあります。当分室は、下戸田分室から程遠くない所にあるため、児童書中心の下戸田分室に対し、蔵書（約1万7千冊）は一般書主体で、若干の児童書、紙芝居を置いています。利用者は比較的に中高年齢者が多く、文学書、家事関係書、雑誌の利用が多い状況です。休室日は第2、4火曜日以外の火曜日のため、本館及び他分室と異なっています。平成30年度の貸出利用者総数は10,419人、貸出点数は31,308点です。

(6) 配本所

① 戸田公園駅前配本所

戸田公園駅前配本所（面積21.53㎡）は、戸田公園駅前行政センターの2階に平成22年6月30日に開設し、蔵書はありませんが、事前に予約した本やCDなどの受取りや返却ができます。朝夕の通勤・通学の途中や買物のついでに気軽に利用することができ、駅前という立地条件の良さから利用者は増加する傾向にあります。

なお、休館日は12月29日から1月3日までで、開館時間は平日午前8時30分から午後8時まで、土・日曜日と祝日は午前9時から午後5時30分までとなっています。

平成30年度の貸出利用者総数は19,925人、貸出点数は37,328点です。

② 新曽配本所

休館した本館の代替窓口として、平成30年7月より、新曽福祉センター1階に開設しました。戸田公園駅前配本所と同様に蔵書はありません。開館時間は、平日午前9時から午後8時まで、土・日曜日と祝日は午前9時から午後6時までとなっています。団体貸出も行っています。

平成30年度の個人貸出利用者総数は11,530人、貸出点数は30,474点です。

(7) コンピュータシステム

平成24年10月に電算システムの入替えを行いました。システム変更により、蔵書検索処理が速くなり、巻数順予約が可能となったほか、予約連絡メール送信の自動化などができるようになりました。現行システムは、昭和58年の開館時から数えると、第7世代になります。システム構成は、アウトソーシング方式を採用し、外部のデータセンターにあるサーバから光回線を通じて本館、分館、分室、配本所の端末機と接続し、システムを運用しています。システム構成は、ICタグ対応の読み取り機器、自動貸出機、チェックゲート等のICシステムと連携したものとなっています。このため、貸出時に図書館資料のバーコードを1冊ずつ読み取っていた入力作業が、一度に5～8冊データ入力できるようになり、貸出手続に要する時間が短縮され、事務効率を高めることができました。

※システム稼働・更新年月

【第1期】 昭和58年11月本格稼働

【第2期】 昭和63年 7月更新

【第3期】 平成 5年 7月更新

【第4期】 平成11年12月更新

【第5期】 平成18年10月更新

【第6期】 平成24年10月更新

【第7期】 平成30年10月更新

8 業務の概要と平成30年度の実績

(1) 資料の収集

〈本館〉

本館の一般書の収集に当たっては、知識の分類でいう10部門を網羅的に収集していますが、利用要求の一番多い部門である文学書（小説）の選択が量的には一番多く、次に法律・経済などの社会科学部門の書籍が続きます。また、中央館としての資料の充実を図るため、分室では要望に応えにくい高額な本や専門書、調査研究に必要な各種の事典・白書・年鑑などの参考図書や郷土資料の収集に努めています。なお、郷土博物館との複合施設であることから、日本の歴史・民俗に関する図書の収集も積極的に行っています。

児童書については、幼児・児童が本に親しむのに適した絵本や物語を中心に収集しています。また、新刊書だけではなく、傷みのひどくなった図書の買換えや利用度の高い図書の複数冊の購入にも努めているほか、市内の小中学校への団体貸出しにも配慮して、要望の多いテーマや調べ学習に役立つ図書の収集も行っています。

その他、平成17年度からビジネス書コーナーを開設したことに伴い、市内企業の社史等の収集も始めました。また、戸田漕艇場に艇庫のある各大学のボート部から資料・情報の提供も得て、平成19年度からボート関連図書コーナーを開設し、漕艇に関する資料の収集を続けています。さらに、戸田ロータリークラブから毎年外国語図書の寄贈があり、ロータリー文庫として外国語資料コーナーの充実を図ることができました。

〈分館等〉（※…分館・分室・配本所のことを「分館等」という。以下同じ）

分館等では、それぞれの規模や利用状況に応じた図書の収集に努めています。利用者の大半が主婦や児童、高齢者であることから、一般書は、利用度の高い小説、家庭家事関係書、旅行ガイド、医療などの実用書を中心に選び、児童書は絵本、物語の収集が主となっています。

◎ 蔵書の割合：本館 77.3%、分館等 22.7% / 一般書 70.4%、児童書 29.6%

資料数

単位：冊・本

区分	図書			紙芝居	視聴覚資料				新聞 (タイトル数)	雑誌 (タイトル数)	録音資料		点字図書	
	一般書	児童書	合計		カセット テープ	CD	ビデオ	DVD			タイトル	本	タイトル	冊
本館	211,090	80,199	291,289	2,161	424	4,768	427	1,031	35	242	83	83	797	2,671
上戸田 分館	31,709	14,946	46,655	428	—	—	—	—	8	35	—	—	—	—
下戸田 分室	894	7,296	8,190	338	—	—	—	—	0	23	—	—	—	—
美笹 分室	7,808	6,751	14,559	305	—	—	—	—	1	22	—	—	—	—
下戸田 南分室	13,813	2,261	16,074	83	—	—	—	—	3	27	—	—	—	—
総数	265,314	111,453	376,767	3,315	424	4,768	427	1,031	47(31)	349(288)	83	83	797	2,671

分類別蔵書冊数

単位：冊

区分	総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工学 家事	産業	芸術・ス ポーツ	言語	文学	絵本	合計
一般書	9,864	10,374	27,185	49,689	15,651	20,416	8,184	26,890	4,649	92,412	—	265,314
構成比 (%)	3.7	3.9	10.2	18.7	5.9	7.7	3.1	10.1	1.9	34.8	0	100
児童書	927	601	4,561	4,096	9,013	3,193	2,067	4,899	1,074	41,284	39,738	111,453
構成比 (%)	0.8	0.5	4.1	3.7	8.1	2.9	1.9	4.4	1	37	35.6	100
合計	10,791	10,975	31,746	53,785	24,664	23,609	10,251	31,789	5,723	133,696	39,738	376,767

(2) 登録

平成30年度の登録者数は、前年に比べ約14%の減少でした。一般・児童（中学生以下）の登録割合は、一般78.1%、児童21.9%で、本館・分館等(※)の登録割合は、本館46.2%、分館等53.8%でした。広域利用（別項参照）の登録者は12.6%でした。

平成27年2月より貸出券の有効期間を1年間とし、更新手続(年1回)を行っており、1年を経過したので、平成28年度からは年度内の新規登録者及び更新手続済み登録者の集計とした。

館別登録者数（団体貸出は除く。）

単位:人

区分	平成29年度	平成30年度			対前年比	構成比
			一般	児童		
本館	15,999	10,482	8,474	2,008	65.5%	46.2%
上戸田分館	6,628	8,119	6,279	1,840	122.5%	35.8%
下戸田分室	1,191	1,141	655	486	95.8%	5.0%
美笹分室	702	867	612	255	123.5%	3.8%
下戸田南分室	1,210	1,102	841	261	91.1%	4.9%
戸田公園駅前 配本所	614	693	630	63	112.9%	3.1%
新曽配本所	—	266	218	48	—	1.2%
総数	26,344	22,670	17,709	4,961	86.1%	100.0%

(3) 貸出業務

① 貸出し

図書館の基本的な業務は、知識や情報を求める図書館利用者に対し、図書館が所蔵する図書館資料や情報を公平かつ自由に、そして、積極的に提供することだといわれています。この基本的な業務を最も端的に実現するのが貸出業務です。資料の貸出利用ができる人は、戸田市民及び戸田市内の事業所、学校に在勤、在学する者並びに広域利用者（川口・草加・蕨・さいたま市、朝霞市、和光市、東京都板橋区、北区の各市区民）であり、貸出券は本館、分館、分室及び配本所において共通して使うことができます。

貸出点数及び貸出期間は、図書や雑誌、紙芝居などの図書資料とCDやビデオテープ・DVDなどの視聴覚資料を合わせて1人10点まで、15日間となっています。借りた図書の返却は、本館、分館等のほか、市内JR埼京線の3駅（戸田公園駅、戸田駅、北戸田駅）の返却ポストに返すことができます（CD付書籍、視聴覚資料、紙芝居、大型本は不可）。

また、本館に導入している自動貸出機については、ICタグの利用により、貸出手続に要する時間を大幅に短縮することができ、貸出時の混雑を解消するとともに、貸出手続が簡単にできることから、利用者にも好評です。

平成30年度の貸出数は次表のとおりとなっています。本館が7月から休館したことにより、総数は前年度に比べ27.4%減少し、このうち個人貸出数では、本館は75.2%減少し、分館等は27.9%増加しました。

◎ 個人貸出利用者：150,136人／本館16.0%、分館等84.0%／一般81.0%、児童19.0%

個人貸出図書：475,621冊／本館16.9%、分館等83.1%／一般書54.5%、児童書45.5%

貸出数

単位:冊・点

区分	平成29年度	平成30年度												対前年比 (%)
			図書			雑誌	紙芝居	点字図書	視聴覚資料					
			一般書	児童書	計				録音	C D	ビデオ	DVD	計	
本館	366,139	90,656	45,390	35,050	80,440	4,009	961	0	23	2,958	11	2,254	5,246	24.8%
上戸田分館	190,089	242,956	127,610	98,799	226,409	7,365	3,947	0	0	2,091	0	3,144	5,235	127.8%
下戸田分室	51,996	48,272	9,165	34,762	43,927	2,845	1,303	0	0	151	0	46	197	92.8%
美笹分室	22,947	35,977	13,518	19,980	33,498	1,825	559	0	0	71	0	24	95	156.8%
下戸田南分室	31,585	31,308	16,873	11,593	28,466	2,350	248	0	0	199	0	45	244	99.1%
戸田公園駅前 配本所	36,594	37,328	27,554	7,154	34,708	1,984	38	2	0	436	0	160	596	102.0%
新曽配本所	—	30,474	18,981	9,192	28,173	1,462	49	0	3	450	0	337	790	—
団体貸出	20,329	5,672	220	5,152	5,372	23	250	0	0	17	0	10	27	27.9%
総数	719,679	522,643	259,311	221,682	480,993	21,863	7,355	2	26	6,373	11	6,020	12,430	72.6%

※本館：4月～6月 / 新曽配本所7月～3月

② リクエスト

貸出しに付随する業務で、利用者の求める図書館資料が他の館（室）に在庫若しくは貸出中又は未所蔵の場合に、その資料要求に応えるのがリクエストサービスです。利用者が求める図書館資料は電算システムにより、各端末機又はOPAC（利用者蔵書検索端末）から図書館資料の所在を確認することができるほか、パスワード登録を行うことで、OPAC及びインターネットを利用して自宅パソコンからも図書館資料の予約手続きができます。OPACやインターネットでの予約件数の割合は、全体の84.5%を占めています。また、メールアドレスを登録することで、予約資料の取り置き連絡を電子メールで受けとることができます。さらに、携帯電話から蔵書の検索や予約手続きができる携帯用サイトも開設しています。平成22年6月からは、リクエスト受付件数の上限を30件までとしています。

未所蔵の図書館資料や書誌データにない資料の場合は、リクエストカードに記入の上、提出することになります。購入又は次項で説明している相互協力による県内の公共図書館等からの借受けにより、希望の図書館資料を提供できるよう努めています。

平成30年度のリクエスト受付件数は、本館休館の影響で前年比で5.2%減少しています。なお、リクエストによる購入冊数は776冊、購入費は1,117,923円です。

リクエスト受付数

単位:件

区分	平成29年度	平成30年度	図書							対前年比 (%)	構成比 (%)
			図書			雑誌	紙芝居	点字図書	視聴覚資料		
			一般書	児童書	計						
本館	7,193	2,220	1,469	286	1,755	197	20	0	248	30.9%	1.9%
上戸田分館	2,339	2,623	1,944	238	2,182	409	6	0	26	112.1%	2.3%
下戸田分室	1,813	1,348	414	244	658	686	3	0	1	74.4%	1.2%
美笹分室	1,043	1,041	760	167	927	103	6	0	5	99.8%	0.9%
下戸田南分室	1,575	1,454	965	138	1,103	329	6	0	16	92.3%	1.3%
戸田公園駅前 配本所	2,028	2,067	1,785	68	1,853	190	5	0	19	101.9%	1.8%
新曽配本所	—	2,797	1,672	760	2,432	148	51	0	166	—	2.4%
HP・OPAC	106,517	102,594	69,087	26,799	95,886	4,554	120	2	2,032	96.3%	88.3%
総数	122,508	116,144	78,096	28,700	106,796	6,616	217	2	2,513	94.8%	100.0%

※本館：4月～6月 / 新曽配本所7月～3月

③ 相互貸借

リクエストされた資料が、自館で用意できない場合は他館から借り受け、反対に他館の要請により貸し出すことを、資料の「相互貸借」といい、図書館間の協力活動の中心となっています。平成11年度から県内図書館の資料をパソコンでISBN（国際標準図書番号）により検索できるようになったため、資料貸借の依頼が早くなり、利便性が高まりました。また、平成17年度には、インターネットによる埼玉県公共図書館横断検索システムが利用できるようになったため、県内公立図書館における所蔵本の検索が容易になっています。

平成19年11月より、申請のあった県内公共図書館に対し、当館ホームページからの貸出依頼のためのパスワードの登録・発行を始めました。登録館も増えており、電話やFAXによる依頼より利便性が高いものとなっています。

県内公共図書館の相互協力は、県立図書館が所蔵調査や資料搬送の要となっており、県の協力車が毎週1回当館に立寄り、資料等の受渡しをしています。また、県内の図書館で都合がつかなかった場合は、国立国会図書館から借り受けることもあります。このほか、利用者からの調査相談についても、当館で解決できない場合は、県立図書館等に照会又は紹介という形で協力を依頼しています。

資料の相互貸借とは別に雑誌を含む図書館資料の保存についても、保存スペースに限りがあることから、それぞれの図書館が保存資料の情報を交換しながら保存資料の重複を避け、図書館全体で幅広い資料の保存をしていくといったネットワーク化も進められており、今後ますます図書館相互の連携、協力関係は広がりをもっていくこととなります。

相互貸借件数

単位:件

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比 (%)
貸出し	2,583	2,402	2,370	2,241	2,069	821	39.7%
借受け	4,768	4,878	5,194	4,561	4,259	4,387	103.0%
総件数	7,351	7,280	7,564	6,802	6,328	5,208	82.3%

④ 広域利用

当初、図書館資料の貸出利用ができる人は、市内に居住する者又は通勤若しくは通学する者と制限がありました。その後、協定を締結し、昭和62年4月から県南3市（川口、蕨及び戸田）間、翌昭和63年4月から県南5市（川口、草加、蕨、戸田及び鳩ヶ谷）間、平成7年1月から旧浦和市と本市間で、図書館資料の広域利用を実施しました。平成13年5月に浦和市が大宮市及び与野市と合併し、さいたま市となったため、同月からさいたま市との協定関係に移行しています。平成17年には、旧岩槻市がさいたま市に合併したため相互利用できる地域も当初と比べると大きく広がりました。なお、平成23年10月からは、川口市と鳩ヶ谷市が合併したため、県南4市間の広域利用となっています。

この協定により該当市に居住する人は、通勤、通学していなくとも、該当他市の図書館資料の館外貸出利用ができます。なお、利用に際しては、各市の図書館規則に従うことになるため、それぞれの図書館で貸出券の作成が必要です。広域利用は相互の市民の利便性を向上させるとともに、各市の図書館運営の補完的役割を担っているものといえます。

平成25年7月より朝霞市、和光市、東京都板橋区、北区の各市区民が戸田市立図書館の図書館資料の貸出利用ができるようになりました。

平成30年度の広域利用統計は次表のとおりであり、また、全体の利用に占める広域利用の割合は、登録者

が12.8%、貸出利用者12.0%、貸出数が11.9%となっています（団体貸出を除く。）。

広域利用統計

区 分	登録者数 (人)	構成比 (%)	貸出利用者数 (人)	構成比 (%)	貸出数 (件)	構成比 (%)
蕨市民	1,711	59.7%	9,108	62.8%	31,924	68.3%
川口市民	290	10.1%	1035	7.1%	2,708	5.8%
草加市民	7	0.2%	16	0.1%	49	0.1%
さいたま市民	715	25.0%	3838	26.4%	10,703	22.9%
朝霞市民	9	0.3%	1	0.0%	2	0.0%
和光市民	17	0.6%	94	0.6%	234	0.5%
板橋区民	79	2.8%	330	2.3%	928	2.0%
北区民	37	1.3%	92	0.6%	210	0.4%
総数	2,865	100%	14,514	100%	46,758	100%

（４） 児童奉仕

図書館では、子供たちに読書の楽しみや喜びを知ってもらうために、児童に対する奉仕を重視しています。本館では、子供と本を結びつけるおはなし会として、毎週水曜日と、第2・第3土曜日に「おはなし玉手箱」を、毎月第1金曜日には2、3歳児と親を対象とする「ととけっこの部屋」を、毎月第4土曜日にはストーリーテリングを主とする「おはなしの部屋」を開催しています。また、子供たちが楽しめるよう「夏休みスペシャル」「クリスマススペシャル」「絵本カルタ大会」という季節に合わせた特別企画があり、いずれも好評です（参加人数は集会行事の項に記載）。なお、おはなし会を実施するのは、おはなしボランティア養成講座を受講したボランティアと児童奉仕担当職員です。多くのおはなしボランティアが、各地域や学校でもおはなし会の活動を積極的に行っています。

PR活動としては、児童書の紹介紙「ブックリばこ」を年4回テーマを決めて発行し、そのテーマに関する本を展示しています。ほかには、小学生に人気のある児童向け館報「わいわいだより」を年2回発行したり、4月には新1年生向けリーフレット「おめでとう！いちねんせい 本はみんなのともだち」を発行したりするなど、本を読む楽しさを知ってもらうよう工夫しています。

こうした様々な取り組みにより、平成18年4月に、「子どもの読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰を受けました。

平成21年3月に「戸田市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年3月に「第2次戸田市子どもの読書活動推進計画」を策定し、基盤となる児童書の整備充実を図るとともに、家庭・学校・地域における子供の読書活動の推進に取り組んでいます。本計画の一環として、平成21年11月から市内の子供たちへの読み聞かせ等集会行事で活用できるよう大型絵本の団体貸出を始めました。また、平成28年4月1日より「戸田市子供読書手帳」の配布を開始しました。この冊子は、A5サイズで50冊分記録でき、感想や満足度も記入できるものです。利用者が20冊と40冊を記録した手帳を提示したときに記念スタンプの押印を、50冊を記録した手帳を提示したときには手帳の裏表紙の達成証に押印をしています。「読書の記録ができる」「励みになる」といった声が多くあり、好評です。図書館ホームページからファイルをダウンロード・印刷し、作成することもできます。平成29年4月より、新小学1年生全児童への配布を開始しました。

(5) レファレンスサービス、複写サービス業務

レファレンスサービス（参考調査業務）は、図書館利用者が何らかの情報や資料を求めようとするときに、図書館を効率的に利用できるよう、職員が支援するサービスです。暮らしや仕事上で生じた疑問をもった利用者から調査相談（口頭、文書、電話、メールのいずれも可）があったとき、職員が資料の利用方法を説明したり、問題解決に役立つ図書館資料やインターネットを利用した各種データベース等の情報を提供したり、これらを使って回答します。ただし、宿題又はクイズの解答、法律や医療の相談、古美術品鑑定などは受け付けません。平成16年度から受付件数の統計の取り方を改め、ごく簡単な調査相談や資料案内、書架案内などのクイックレファレンスの件数も計上するようにしたほか、分館・分室等での受付数も含めることにしています。

なお、レファレンスサービスの発展と充実を図るため、平成17年6月の特別整理期間(蔵書点検休館)の時に本館参考調査室のレイアウト変更を行っています。具体的にはレファレンスカウンターの場所と形状を変えて資料案内や調査相談がしやすいように改善し、辞典など参考図書の本棚の間に調査研究席を配置しました。また、1階にあった当日の朝・夕刊の新聞を同室に移し、新聞のバックナンバー、縮刷版などをまとめて「新聞コーナー」としました。ビジネス関連雑誌等を置いた雑誌架のそばには、起業（創業）や就職支援関係機関のパンフレットなどを備え、1階の一般書から主に経済、経営、職業、商業などの図書をピックアップし配架した「ビジネス書コーナー」を設置しました。平成19年度から戸田漕艇場に艇庫のある各大学の漕艇に関する資料のコーナーも設置しました。参考図書、戸田市関係資料の利用やレファレンスサービスの利用を促進するため、平成18年度からレファレンスサービスの広報紙「レファレンスだより」の発行と「レファレンス講座」を開始しました。平成26年度から子供向けに調べ物に役立つ本を紹介する「こどものための『しらべかたガイド』」を発行し、情報発信にも努めています。

今後も参考図書の充実や戸田市関係資料の整備に努め、インターネットによる各種データベース情報等の活用を促進し、レファレンスサービスの向上を図っていきます。

また、複写サービスにおいても平成19年度から、複写サービスの要項を見直し、カラーコピー機の導入により、カラーコピーができるようにしたほか、複写が認められた他館借受資料や市が契約しているインターネットのデータベース情報等の複写もできるようにしました。

① 参考調査受付件数 (平成31年3月31日現在)

総数	レファレンス	クイックレファレンス
4,561件	51件	4,510件

② 複写サービス利用件数 (平成31年3月31日現在)

総数		図書資料		プリント	
312件	1,879枚	289件	1,497枚	23件	382枚

(6) 障害者奉仕

図書館は、資料を求める全ての人に公平に提供する責務があり、何らかの障害により図書館利用が困難な人に対しても、その読書や学習活動に応えるように努めなければなりません。当館における障害者奉仕は、現時点では視覚障害者への業務を主としています。

当館では、図書や図書館新着案内などを音訳したデイジー（※）やカセットテープ等の障害者用録音資料の作製や視覚障害者への貸出しを行っており、点字図書・点字雑誌の収集や貸出しも行っています。録音資料の貸出しは、当館の所蔵資料の他、全国の図書館から相互貸借で録音資料を借り受けて行っています。録音資料の作製は、「戸田市朗読の会」の音訳ボランティアをお願いしていますが、劣化してきたカセットテープ用の機材について新たな入手が困難なこと、デイジーの再生機が普及してきたことから、平成18年度よりカセットテープからデイジーへの移行を開始し、平成24年度以降はデイジーのみの作製となりました。

また、対面朗読室を設けており、弱視者用に大活字本、拡大読書器を備えています。ボランティアが広報や議会だよりのデイジーを製作する際には、担当課からボランティアへ渡す原稿やCD-ROM、封筒などの物品の仲介を行い、ボランティアの作業場所や機材等の提供もしています。

※「デイジー（DAISY）」とは、Digital Accessible Information SYstemの略で、視覚障害者や通常の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書のことをいいます。

視覚障害者奉仕の状況

(平成31年3月31日現在)

登録 者数	資料数				貸 出 数			対面朗読	
	録音資料		点字図書		録音資料		点字図書	利用者	時間数
25人	カセット	デイジー	797タイトル	2,667冊	カセット	デイジー	51冊	0 人	0 時間
	0タイトル	83タイトル			5本	683枚			
	0本	83枚							

(7) 集会行事

当館の集会行事の中心は、専門家を講師に招いて開催する講座・講習会と、児童を対象としたおはなし会、子供映画会です。各種講座は、生涯学習施設として、教養の向上を図る講座を開催しています。また、児童や子育て中の親とその子供を対象にしたおはなし会、子供映画会等は、児童の情緒を育み、本に親しみを持ってもらうとともに、親子で参加することを通じ子育て支援事業としての側面も持っています。また、平成18年度からレファレンス講座を開催し、平成21年度からは、子供たちに図書館をより身近で利用しやすいものとしてもらうため、図書館探検ツアーも開催しています。

なお、平成27年度からは、一般（高校生以上）対象に名作映画鑑賞会を実施しています。

平成30年度の行事は、次表のもので、延べ開催数は177回、延べ参加人数は2,656人でした。

◎集会行事の実施状況

行 事 名	講 師 名	内 容	対象	回数 (回)	延参加人数 (人)
古典講座	山谷 紀子（県立高校教諭）	「深読み『源氏物語④』」	一般	4	147
文学講座	原 善（大学教授）他	「教材化された村上春樹」	一般	4	86
音訳者養成講座（上級）	齊藤 禮子	視覚障害者の読書活動を援助する音訳ボランティアの養成	一般	10	40
子どもの本の講演会	藤高 信男 （科学読物研究会員）	親子で楽しむ科学遊び テーマ「光と色の彩エンス」	親子	1	36
親子で楽しむ折り紙講座	萩原 きみ江 （日本折紙協会講師）	折り紙の講習 「折り紙で作る鯉のぼり」	親子	1	14
おはなし玉手箱	おはなしボランティア 及び図書館職員	絵本の読み聞かせ、おはなしなど	児童	19	219
ととけっこの部屋		2、3歳児とその親を対象に絵本と読み聞かせとわらべうたで遊び	親子	3	98
おはなしの部屋		ストーリーテリング（素話） ^{すばなし}	児童	3	15
子供映画会	図書館職員	16ミリ、DVD映画の上映	児童	3	58
出前講座（百科事典を使ってみよう）	図書館職員	図書館員が学校に出向いて百科事典の利用方法などの講座を開催する。	児童	1	33
出前講座（図書館へ行ってみよう）	図書館職員	図書館員が学校に出向いて図書館の利用方法などの講座を開催する。	児童	1	112
合 計				50	858

(8) 視聴覚活動

本館視聴覚室では約60席の座席を配し、各種講座、講演会や月1回の子供映画会を開催しています。附属する視聴覚機器は、16ミリ映写機、DVDプレイヤー、OHC等があり、パソコンを使用した映像も見られるようになっています。

同室内の録音室は、対面朗読室同様に遮音性を高め、音訳ボランティアがデジタイズを製作する際に使用しています。

(9) 広報活動

図書館の広報、発行物は次のとおりです。

○「あたらしい本」（昭和59年10月創刊）

本館で新しく受け入れた一般書の一部を紹介するリスト。毎月1回発行

○「わいわいだより」（昭和59年12月創刊）

児童向け図書館報。児童に図書館に親しみをもってもらう。年2回(4月、10月)発行

○「ブックリばこ」（昭和60年12月創刊）

毎月テーマを決め、6冊の児童書を紹介している。年4回発行

○「おめでとう！いちねんせい 本はみんなのともだち」（平成11年4月創刊）

小学校1年生向き図書の紹介リーフレット。年1回(4月)発行

○「赤ちゃんの小箱」（平成14年4月創刊）

赤ちゃんの小箱の冊子をブックスタート実施時に配布。

○「マタニティママと赤ちゃんの小箱」（平成23年4月創刊）

妊婦向けブックスタート用の冊子を母子健康手帳発行時に配布。

○「新しい絵本のリスト」（平成23年6月創刊）

本館で新しく受け入れた児童書の一部を紹介するリスト。年6回(偶数月)発行

○「戸田市子供読書手帳」（平成28年4月1日配布開始）

50冊分記録でき、感想や満足度も記入できるA5サイズの冊子

○「レファレンスだより」（平成18年4月創刊）

レファレンスサービスについての広報紙。年6回(偶数月)発行

○「こどものための『しらべかたガイド』」（平成27年3月創刊）

子供向けに調べ物に役立つ本を紹介する冊子。随時発行

○「イベント案内」（平成26年4月15日創刊）

集会行事の案内。毎月1回発行

○図書館ホームページ

図書館ホームページは、平成12年に開設しており、当館の蔵書検索・予約のほか、新着図書案内、活動状況等、様々な図書館情報を掲載しています。

(ホームページアドレス)

<https://library.toda.saitama.jp/>

(携帯電話用サイトのアドレス)

<https://library.toda.saitama.jp/i/ihome.html>

(スマートフォン用サイトのアドレス)

<https://library.toda.saitama.jp/opw/OPS/OPSINDEX.CSP>

(10) 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、学校教育や社会教育の現場で必要とされる視聴覚機材・教材を集中的に保管し、教育現場の求めに応じてこれらを貸し出すもので、次のような機能があります。

- ① 視聴覚情報及び視聴覚教材の管理……教材の収集、機材の保管
- ② 機材・教材の供給……機材・教材の貸出し
- ③ その他のサービス……視聴覚資料の提供

また、視聴覚ライブラリーの利用に当たっての留意事項は、以下のとおりです。

- ① 使用条件を確認して、これを守ること。
- ② 使用の申込みは、できるだけ早めに行うこと。
- ③ 申込後の借用日の変更は直ちに連絡すること。
- ④ 機材・教材の運搬には責任ある方法をとること。
- ⑤ 機材・教材の使用に際しては、特に慎重に扱うこと。
- ⑥ 万一故障や損傷が生じたら、ありのままに報告すること。
- ⑦ 機材・教材使用後は必ず期限内に返却すること。

当館の視聴覚ライブラリー活動の主たるものは、映写機・16ミリフィルム等の貸出し、子供映画会の開催です。

視聴覚ライブラリーの機材・教材の貸出利用ができる者は、市内に所在する機関、団体であり、個人への貸出しは行っていません。機材・教材の貸出条件は、16ミリフィルム・DVDソフトの貸出本数は1回3本以内、貸出期間は5日以内です。なお、映写機の操作は埼玉県16ミリ映写技術講習会修了証又は埼玉県研修カリキュラム1映画コース修了証の所持者に限定しています。

年々16ミリ映写機の貸出件数が減少していることから、平成19年度に新たにDVD映写機を導入しました。この機器は、16ミリ映写技師有資格者がいなくてもDVDの学習教材をスクリーンに映し出すことが誰にでも簡単にできるため、幼稚園、保育園等の催しに貸し出されています。高価な16ミリフィルムに比べると約10分の1の価格でDVDソフトを購入できるため、視聴覚ライブラリー教材の充実を図ることができます。

① 視聴覚ライブラリーの機材・教材利用状況等（平成31年3月31日現在）

DVD等映写機		16ミリフィルム・DVDソフト		
所有台数	利用件数	所蔵本数	利用件数	利用本数
2台	3件	342本	32件	66本

② 子供映画会（平成31年3月31日現在）

回数	延参加人数
3回	58人

※4月～6月に各1回実施

(11) ブックスタート

平成14年度から市の保健部門と連携して、親子の触れ合いを深め、赤ちゃんの健やかな成長を願って実施している事業であり、毎月1回、福祉保健センターで実施している「4か月児健診」に訪れた乳児と保護者を対象としています。

具体的には、健診日に図書館職員が同センターに出向き、健診を終えた親子に対し、「身近な人からやさしく語りかけられることにより、赤ちゃんは愛情を感じ、満足し、人への信頼を育んでゆくということから、その“ことば掛け”の一つとして絵本を読んで一緒に楽しむひとときをもちましよう」というブックスタートの趣旨を説明し、

絵本の読み聞かせを実演、絵本及び絵本紹介冊子「赤ちゃんの小箱」の贈呈を行っています。子育て支援事業の一つになっていますが、このことをきっかけに図書館に来て絵本を借りたり、おはなし会に参加する人もおり、幼児期から本に親しむきっかけを作ることと読書活動推進の一環にもなっています。

また、赤ちゃんがおなかの中にいる時から母親にやさしく語りかけてもらい、親子でゆったりとした楽しい時間を分かち合うことを大切にしてもらうために、平成23年4月からは、妊婦向けブックスタート用の冊子「マタニティママと赤ちゃんの小箱」を母子健康手帳発行時に配布しています。

ブックスタート事業を受けた親子組数

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
組 数	1,354	1,381	1,442	1,448	1,520	1,578	1,531	1,431	1,356

(12) 学校との連携（団体貸出し）

子供の読書活動推進及び多岐にわたる調べ学習などのため、市内の小中学校へ協力することを目的として、図書館資料の団体貸出しを学級単位で実施しています。

（学校団体貸出説明会）

市内小中学校全18校と連携を深めるため、団体貸出しについての説明会と情報交換を2回に分けて開催しました。

【開催日】

◎平成30年4月12日（木）午後3時30分から

◎平成30年4月13日（金）午後3時30分から

学校団体貸出しの件数と冊数

学校	区分	貸出数 (平成29年度)	貸出数 (平成30年度)
小学校	貸出件数	349件	349件
	貸出冊数	15,742冊	15,742冊
中学校	貸出件数	0件	0件
	貸出冊数	0冊	0冊
合計	貸出件数	349件	349件
	貸出冊数	15,742冊	15,742冊

※貸出件数＝延貸出学級数